

適応機種

セクショナルキッチン
さくら・すみれ・クリンプレティ

吊戸棚、アイエリア吊戸棚

この説明書は、商品を正しく取付・設置していただくための手順や方法・注意事項について記載したものです。
内容を確認しながら、確実に安全な取付・設置をお願いします。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- 取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取付・設置してください。
- 表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、商品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



この図記号は、商品の取り扱いにおいて、注意を喚起するための図記号です。



このような図記号は、商品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

- 取付・設置完了後は、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 本体に同梱されている取扱説明書などは、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付・設置完了後、お客様にお渡しください。



※ 左のコードは、下記の番号を意味しています。
商品に関する情報にはアクセスできません。

W102786000

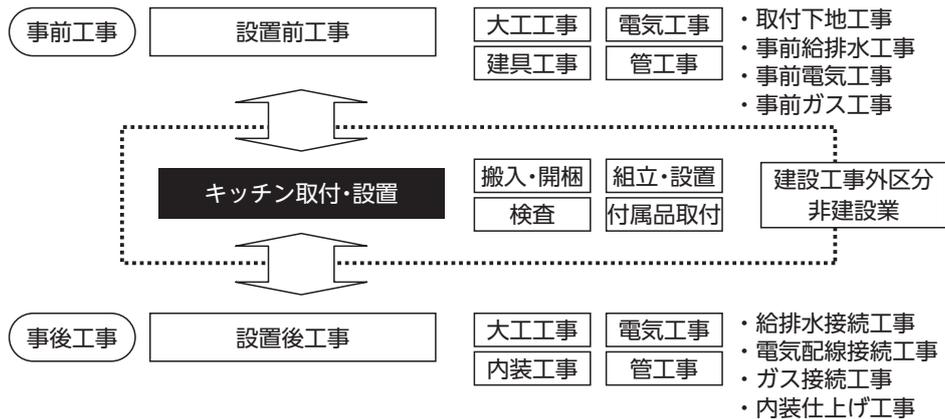
安全上のご注意（必ずお守りください）



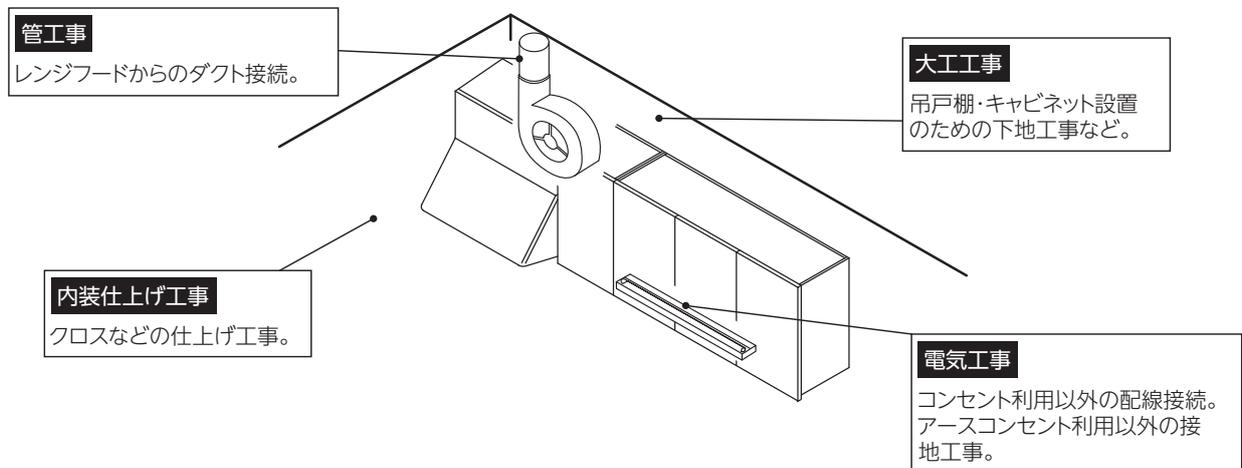
◎本説明書は、キッチン本体の取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。
建設工事は関連する法令・規定に従って、「法的有資格者」による工事が必要になります。
流通業者様（販売店様など）からの発注で下請けとして「本体の取付・設置」を行う場合は、建設工事部分と「キッチン本体取付・設置」を区別して行ってください。



■キッチンの取付・設置とユニット工事区分



※本説明書では、上記の工事に関する説明部分に **大工工事** **電気工事** などの工事区分を表記しています。



◎吊戸棚などの商品の取付・設置は、建築壁の構造を確かめて、この説明書のとおり正しく行ってください。取付・設置を誤ると、使用中に取付ねじがゆるみ、商品が落下して、ケガをする恐れがあります。



◎配線・配管工事は、法的資格を有する者が行う工事範囲です。法令・規定に従って、「法的有資格者」が行ってください。

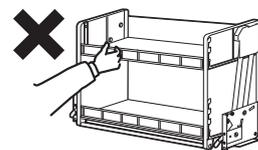


接続や固定が不完全な場合は、火災・感電・水漏れの原因になります。 **電気工事** **管工事**

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 注意

- ◎当社商品に使用する材料や接着剤などは、JIS、JAS または国土交通大臣の認定を受けた F☆☆☆☆ の材料を使用しています。そこで、取付・設置時に使用する下地材、接着剤、塗料などについても、F☆☆☆☆レベルのものをお選びください。ホルムアルデヒド発散量の多い下地材、接着剤、塗料などを使用すると、室内のホルムアルデヒド濃度を高めることになります。 **大工工事**
- ◎棚板を設置するときは、棚受けダボをすき間のないよう根元まで確実に差し込んでください。棚板が外れ、収納物が落下してケガをする恐れがあります。
- ◎調理機器を設置する場所には、建築基準法や電気設備技術基準・火災予防条例に定める防火処理を施す必要があります。 **大工工事** **電気工事** **内装仕上げ工事**
- ◎ムーブダウン吊戸棚のラック部は不燃材料ではないので、調理機器との離隔を十分にとって設置してください。離隔距離は機器の説明書をご覧ください。
- ◎ムーブダウン吊戸棚の収納ラックの落下防止バーや高さガイドバーを持たないでください。外れたり、曲がったりする恐れがあります。
- ◎取付・設置完了後、扉の傾き、ガタつき、ちょうぼん丁番のゆるみがないことを必ず確認してください。扉の取り付けに異常があると、使用中に扉が落下して、ケガをする恐れがあります。
- ◎キャビネットどうしの連結や建築壁への固定などの際は、固定ねじや工具で配線や配管を傷つけないように十分に気をつけてください。



組込機器類

- ◎キッチンに取付・設置する電気製品・調理機器・レンジフード・水栓・その他の機器については、それぞれの商品の説明書や商品本体の注意表示を確認して工事を行ってください。工事を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になる恐れがあります。 **電気工事** **管工事**

洗剤類

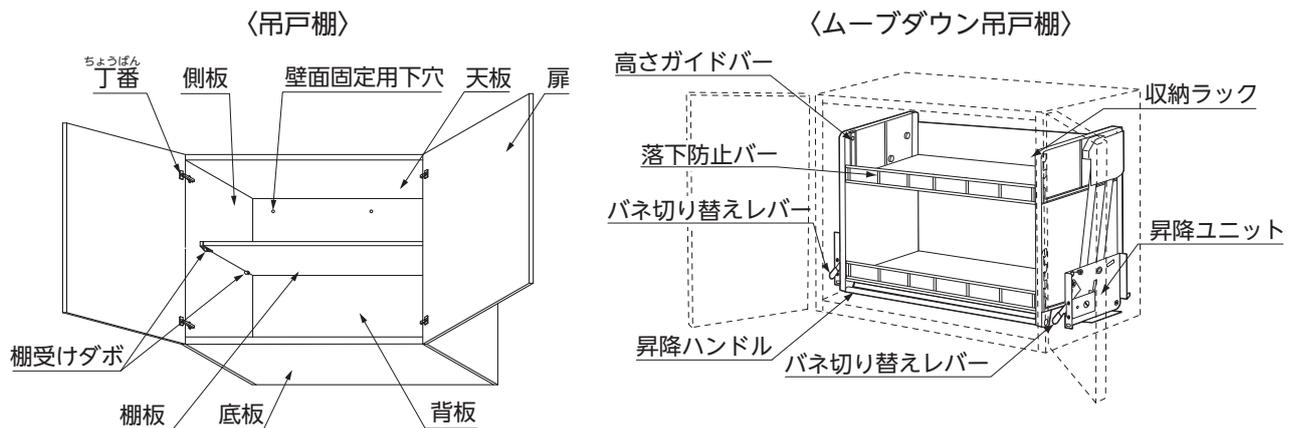
- ◎取付・設置や工事に使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他の薬品類については、容器などに記載の注意表示に従って、正しくお使いください。誤った使い方をすると、人体に悪影響を及ぼしたり、商品の損傷や劣化の原因になります。 **内装仕上げ工事**

傷防止のお願い

- ダンボールや厚手の毛布で、流し台やワークトップの上を十分に保護してから作業を開始してください。
- ダンボールを開いたり動かしたりするときは、床や商品に傷をつけないように養生してください。

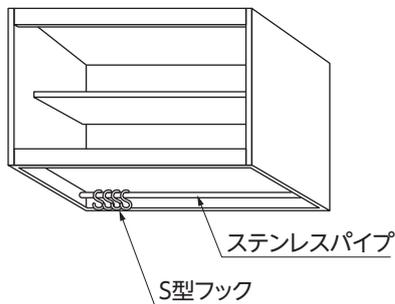
取付・設置例と各部のなまえ

■吊戸棚



■アイエリア吊戸棚

〈調味料棚タイプ〉



付属部品表

- 下記の付属部品が同梱されていますので、確認してください。

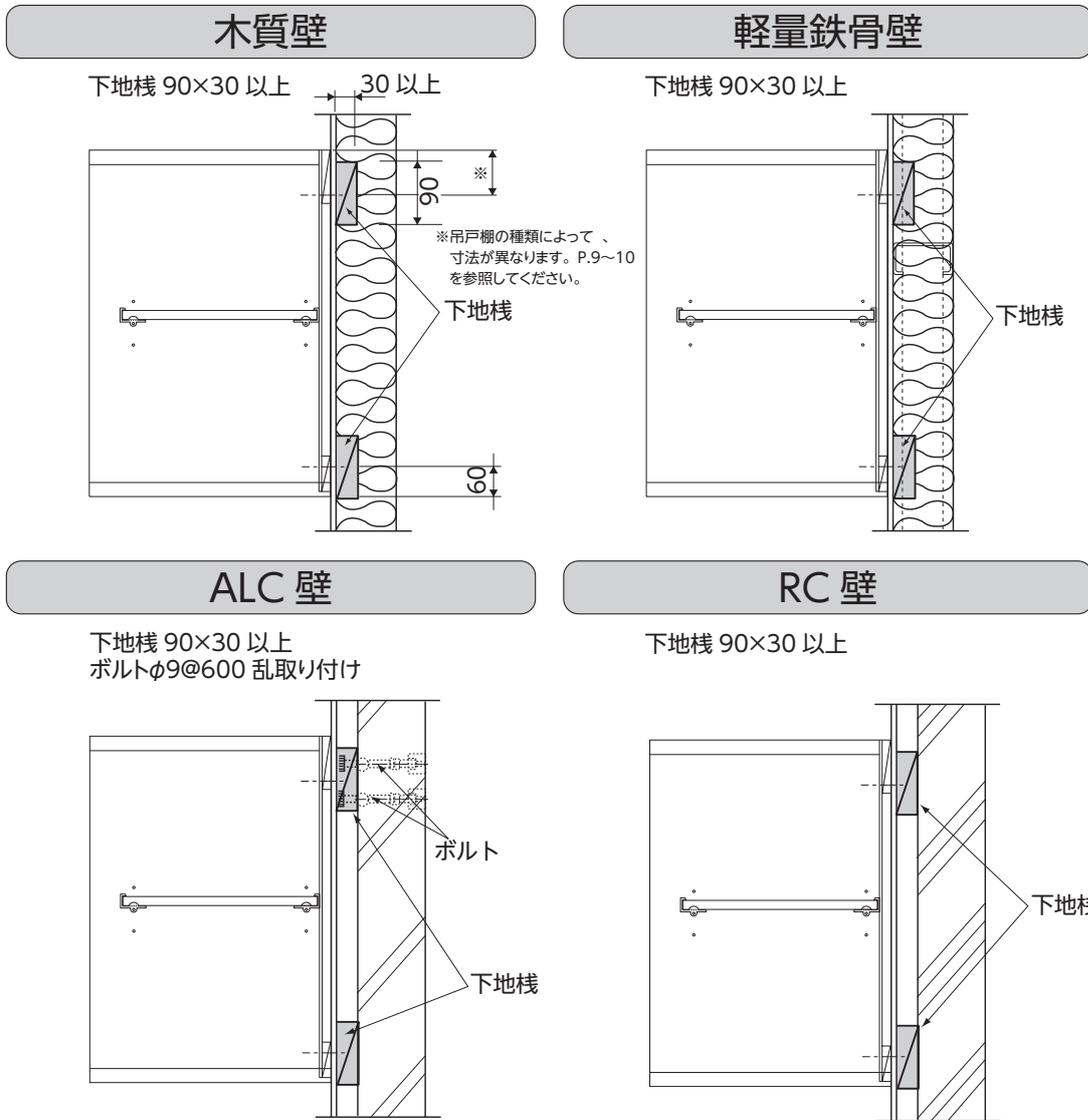
間口		部 品							S S管
		壁固定ねじ (5×55)	ジョイントねじ (4×28)	ジョイント キャップ	水切りカバー	水切り棚			
吊戸棚	W150~600	3本	—	—	—	—	—	—	
	W750~1050	5本	—	—	—	—	—		
	W1200~1800	6本	—	—	—	—	—		
	コーナー	8本	—	—	—	—	—		
	ムーブダウン	W600	5本	—	—	—	—	—	
W900		7本	—	—	—	—	—		
アイエリア 吊戸棚	調味料棚タイプ	W300~600	3本	5本	8コ	—	—	6コ	
		コーナー	7本	6本	13コ	—	—	6コ	

建築壁について

●付属の壁固定ねじは、木質材（下地材）に使用するためのものです。
建築壁には、必ず下地材を取り付けてください。 **大工事**

●吊戸棚の機種によって壁固定位置が異なります。
P.9～10 「4 吊戸棚・アイエリア吊戸棚の取り付け」を参考に下地材を取り付けてください。 **大工事**

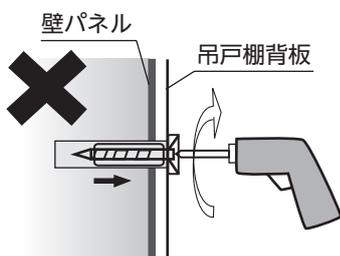
●以下に建築壁別の下地材を取り付けた固定方法を例示します。 **大工事**



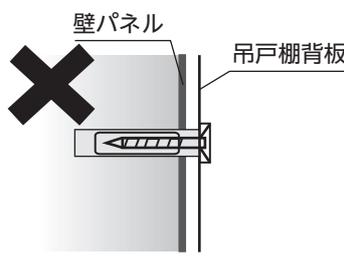
◎吊戸棚は下地材への取り付けを前提としており、上図以外の方法による場合、強度不足、取り付け不良による落下が懸念されます。特に、コンクリート壁にプラグを使って直接固定する場合、プラグの引き込み／不適切なねじの選定／プラグの破損には十分に注意してください。



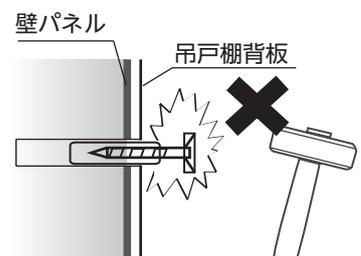
●トルクをかけすぎプラグを引き込んでしまう。



●ねじが細く長さも貫通してないためプラグが広がっていない。



●プラグの現物合わせで打ち込む際、プラグを割ってしまう。



取付・設置と工事のながれ

	ながれ	ページ	関連工事の有無
1	下準備と確認	7	大工工事・電気工事・内装仕上げ工事あり
2	扉・棚板などの取り外し	8	
3	吊戸棚どうしの連結 (アイエリア吊戸棚の場合のみ)	9	
4	吊戸棚・アイエリア吊戸棚の取り付け	9～10	
5	扉の脱着・調整	10～11	
6	その他の部品の取り付け・調整	12～13	
7	取付・設置後の確認	14	

取付・設置

① 下準備と確認

- 次の事項を確認してください。

確認によって補充工事が必要なときは、取付・設置に入る前に工事を依頼してください。

- 壁・床・天井の直角な交わりと水平・垂直を、下げ振り・レーザー水準器・水準器・水盛り管などで確認してください。

10 mm以上の誤差は仕上げに支障が出ますので、再工事を依頼してください。 **大工事**

- 壁面や天井の指定位置に下地材があるか、確認してください。 **大工事**

- 下地材の寸法・強度・材質、それにかかわる壁面が適切か、確認してください。 **大工事**

- 指定した位置に適切な容量のコンセントやその他の電気設備があるか、確認してください。 **電気工事**

- 床の幅木・天井の回り縁などが設置に影響しないか、確認してください。 **大工事** **内装仕上げ工事**

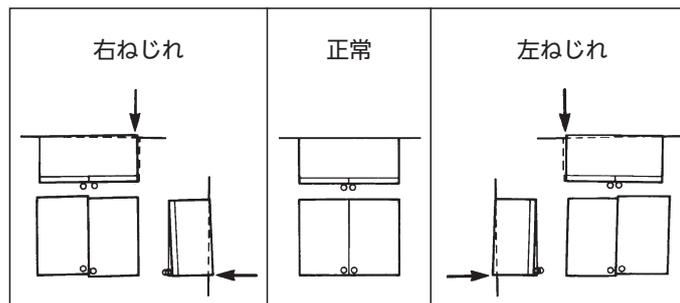
- ダンボールを開いたり動かしたりするときは、床や商品に傷をつけないように養生してください。

- ダンボールや厚手の毛布で、ワークトップや商品全体を十分に保護してから作業を開始してください。

- 取付・設置に入る前に、商品名・機種・色・数・寸法などに間違いがないか、確認してください。

- 建築壁の表面をたいらにしてください。

壁面に凸凹があると扉が段違いになり、仕上げに支障が生じます。凸凹がある場合は、下図の矢印(→)の位置を“当て木”で支えるなど、事前の補修を行ってください。

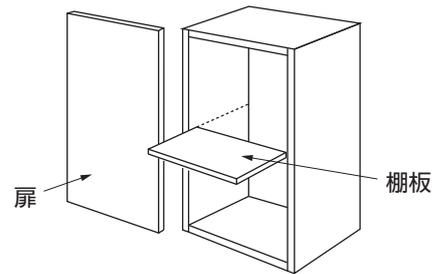


取付・設置

② 扉・棚板などの取り外し

●吊戸棚から扉・棚板・水切り棚を取り外してください。
外した扉・棚板・水切り棚は、安全なところに保管してください。

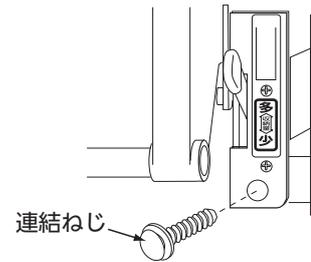
※扉の外し方は、P.10～11 「⑤ 扉の脱着・調整」を参照してください。棚板の外し方は、P.12 「⑥ その他の部品の取り付け・調整」を参照してください。



〈ムーブダウン吊戸棚の場合〉

ムーブダウン吊戸棚の場合は収納ラックを取り外す必要があります。以下の手順に従って取り外してください。

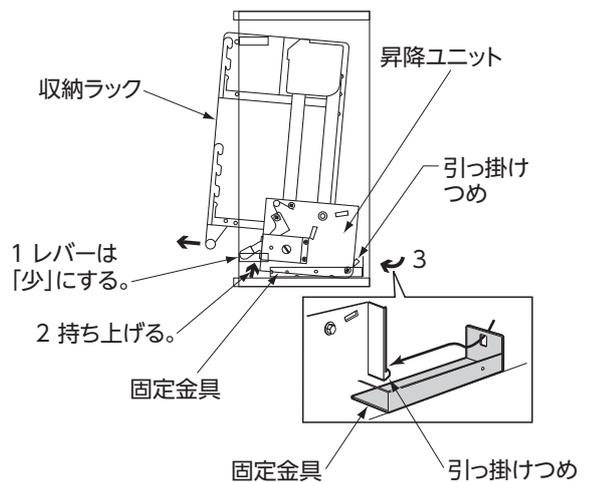
◎電気ドライバーは使用しないでください。
収納ラックを傷つけたり、ねじ山を損傷したりする恐れがあります。



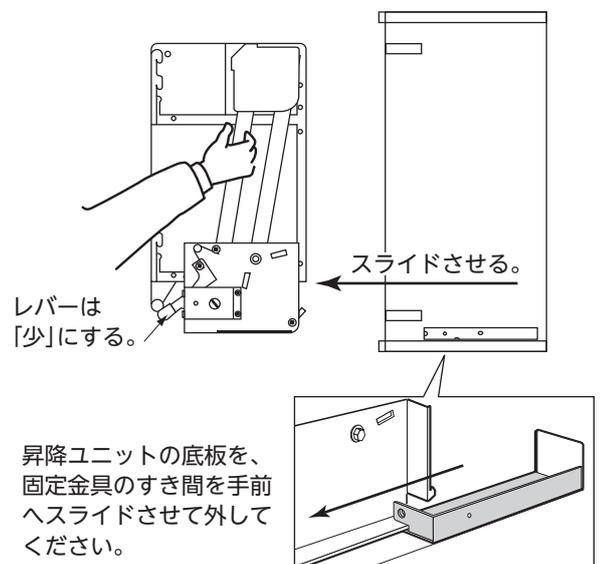
①左右の連結ねじを外してください。
このとき、レバーをいったん「多」の方へ上げてください。ねじが外しやすくなります。

※外した連結ねじは取り付けるときに使用するのだから、くささないように保管してください。

②レバーを「少」の方へ下げます。
昇降ユニットの前部を持ち上げ、引っ掛けつめを固定金具から外します。
収納ラックを少し手前へ引き出します。



③収納ラックを手前へスライドさせて、吊戸棚から外してください。
外した収納ラックは安全なところに保管してください。
作業は2人で行ってください。



取付・設置

③ 吊戸棚どうしの連結 (アイエリア吊戸棚の場合のみ)

(1) 下穴加工

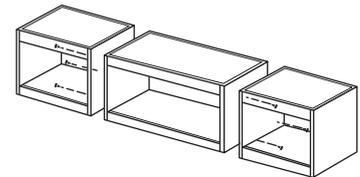
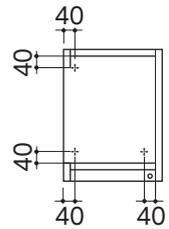
連結する一方の吊戸棚の側板に、右図の〈ねじ止め参考位置〉からドリルでφ3の下穴を開けてください。

(2) 吊戸棚どうしの連結

床の上で連結する吊戸棚どうしを面合わせして、上記(1)で開けた穴から、付属のジョイントねじ(4×28)で吊戸棚間にすき間がないように連結してください。

次に、ジョイントねじの頭に、付属のジョイントキャップを取り付けてください。

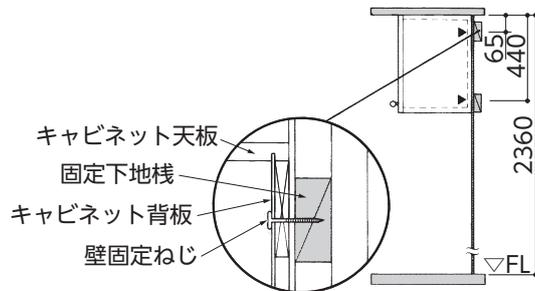
〈ねじ止め参考位置〉



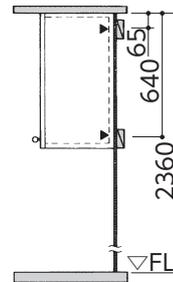
④ 吊戸棚・アイエリア吊戸棚の取り付け

▶: 取付位置

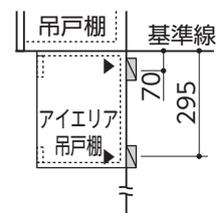
〈ショート吊戸棚〉



〈ミドル吊戸棚、
ムーブダウン吊戸棚〉



〈アイエリア吊戸棚〉



◎複数の下穴をすべて埋めるように、ねじを残さず使用して固定してください。

壁固定ねじの使用数が少ないと、使用中に落下をまねく恐れがあります。

※ねじが締まらない場合は一度ゆるめてから再度締め直してください。

※ 締めすぎるとねじの頭がこわれる恐れがあります。

(1) 所定の位置へ持ち上げてください。

(2) 背板にある下穴に合わせ、建築壁の下地棧にφ3.5(深さ25mm程度)の下穴を開けてください。

(3) 下穴から、付属の壁固定ねじ(5×55)を使い、建築壁の下地棧に固定してください。

ねじの頭が折れないように注意しながら、確実に固定してください。

※吊戸棚・アイエリア吊戸棚と壁の間にすき間がある場合は、P.7「①下準備と確認」に準じ、スペーサーで支えるなどして、ねじもみ込み時にキャビネットがゆがまないようにしてください。



取付・設置

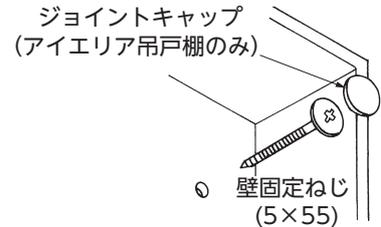
④ 吊戸棚・アイエリア吊戸棚の取り付け (つづき)

〈アイエリア吊戸棚の場合〉

(4)天板から吊戸棚にジョイントねじ (4×28) で連結してください。



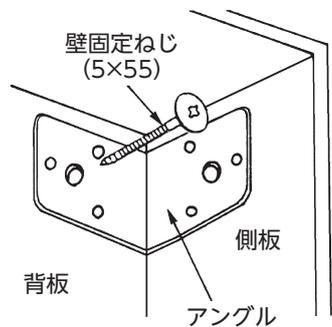
(5)ねじの頭に、付属のジョイントキャップを取り付けてください。



〈ムーブダウン吊戸棚の場合〉

(4)下表に従って、下地棧に壁固定ねじ (5×55) で固定してください。上部両側の2カ所はアングルで固定してください。

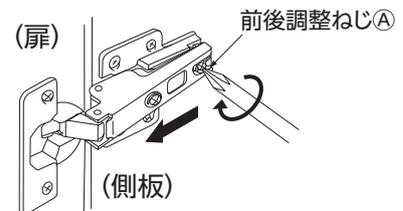
間口	上部固定箇所	下部固定箇所
W900	アングル2カ所、下穴3カ所	下穴2カ所
W600	アングル2カ所、下穴2カ所	下穴1カ所



⑤ 扉の脱着・調整

●扉の取り外し方

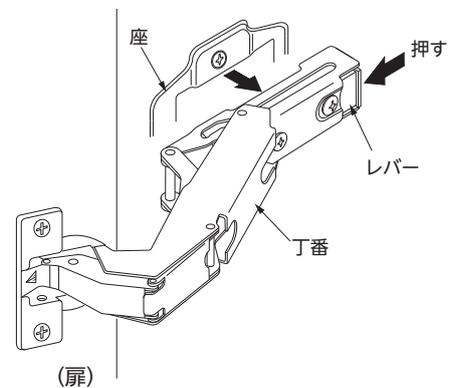
前後調整ねじ①をゆるめ、扉を手前に引いてください。



〈隅吊戸棚の場合〉

右図のように、レバーを手前に押し込むと外れます。

〈隅吊戸棚の場合〉



取付・設置

5 扉の脱着・調整 (つづき)

●扉の取り付け方

取り外したときの逆の手順で取り付けてください。

〈隅吊戸棚の場合〉

丁番裏面のつめが、座の長方形の穴に入るように、丁番と座を重ね、丁番の上から“カチッ”と音がするまで座側に押し込みます。

●扉の調整

●前後調整

前後調整ねじ④をゆるめ、扉の前後を合わせた後、再び前後調整ねじ④をしっかりと締め付けてください。扉が前後に動かない場合は、左右調整ねじ⑤を少しゆるめてください。

●左右調整

前後調整ねじ④を締めたまま調整してください。左右調整ねじ⑤を反時計回りに回すと側板と扉の間隔は狭くなり、時計回りに回すと側板と扉の間隔は広がります。調整終了後、必ず前後調整ねじ④をしっかりと締め直してください。

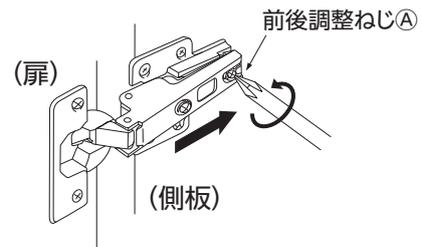
●上下調整 (隅吊戸棚の場合)

上下調整ねじ⑥をゆるめ、座を上下に調整後、再び上下調整ねじ⑥をしっかりと締め付けてください。

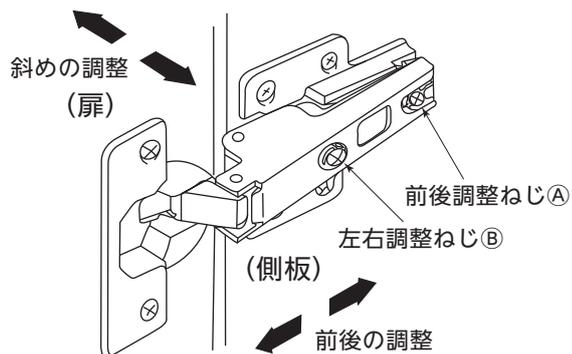
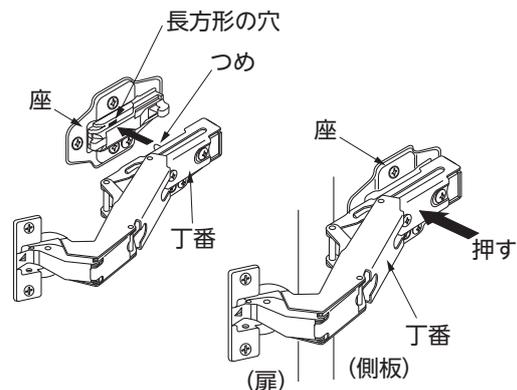
●扉を取り外して、再度取り付けるときは、扉面とキャビネットが平行になるように調整してください。

●扉の左右両端とキャビネットの外側との間隔が 1 mm 以上になるよう左右調整してください。また、左右両開き (観音開き) 扉の場合は、扉と扉のすき間が 3 mm 以上になるようにしてください。

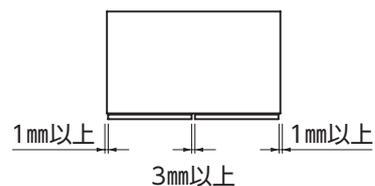
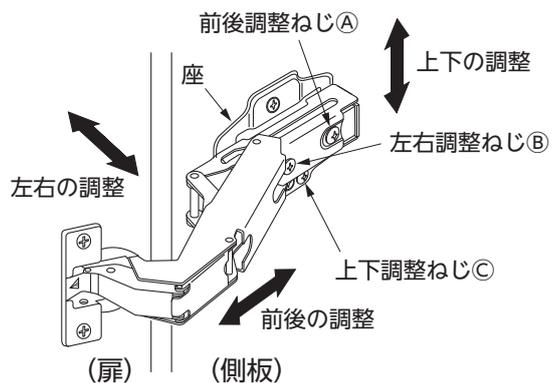
○扉が傾いたり、ガタついているときは、丁番のねじがゆるんでいる場合がありますので、締め直してください。扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。



〈隅吊戸棚の場合〉



〈隅吊戸棚の場合〉

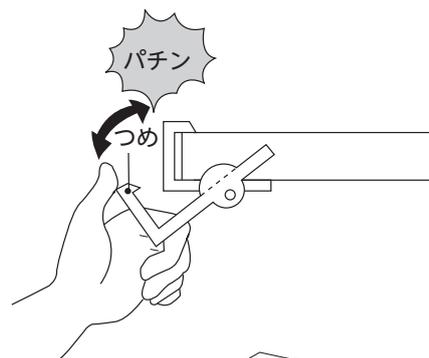


取付・設置

⑥ その他の部品の取り付け・調整

●棚板の取り外し方

- (1)前側の左右の棚受けダボのつめ部分を、棚板を押さえながら、“パチン”と音がして外れるまで手前へ強く引いてください。
- (2)棚板を前へ引いて取り外してください。



●棚板の取り付け方

- (1)右図のように、棚受けダボを棚受けダボ穴に根元まで差し込んでください。

※幅の大きい棚板は、キャビネット背板の中央部分にも棚受けダボがあります。

※差し込みが浅いと、棚板が棚受けダボの抜け防止の突起部分にあたり、棚受けダボが破損する恐れがあります。

※棚板をセットするときは、棚受けダボにある「抜け防止の突起」を変形させないでください。
棚板のガタつきの原因になります。

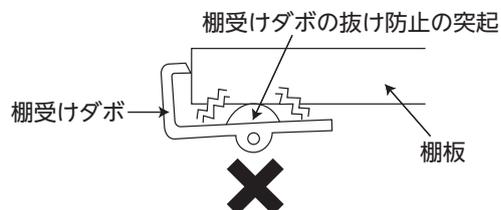
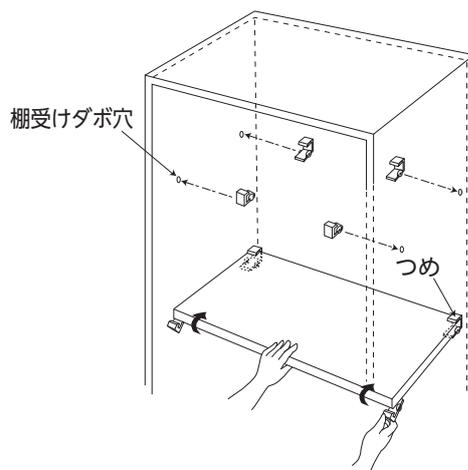
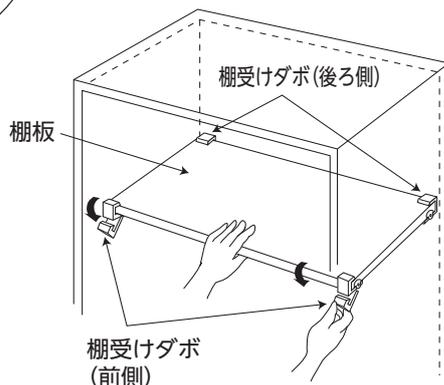
- (2)後ろ側の棚受けダボのつめに棚板をしっかりとめ込んでください。

- (3)棚板を押さえながら、前側の棚受けダボを下から強く押し上げてください。

つめが棚板にはめ込まれ、“パチン”という音がするまで押し上げてください。

- (4)棚板にガタつきがないか、確認してください。

※ガタつきがある場合は、再度取り付け直してください。



取付・設置

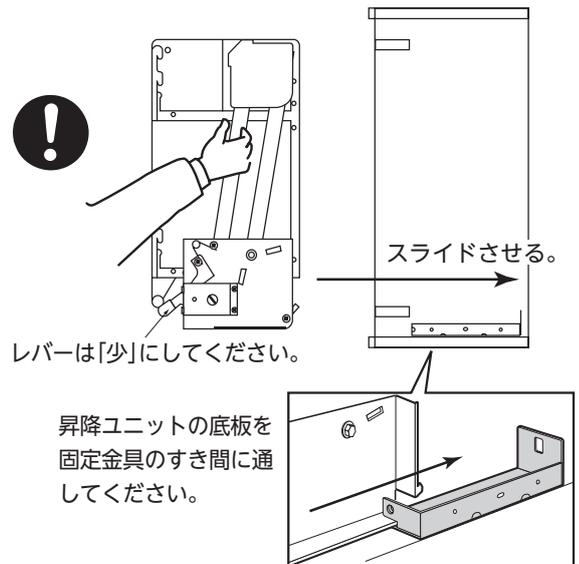
⑥ その他の部品の取り付け・調整 (つづき)

● 収納ラックの取り付け方 (ムーブダウン吊戸棚の場合)

◎必ず扉を取り付けてから、調整を行った後、ラックの取り付けを行ってください。

ラックを取り付けた後では、ちょうぼん 丁番の調整ができません。

(1) 収納ラック全体を、吊戸棚の中へスライドさせて、入れてください。



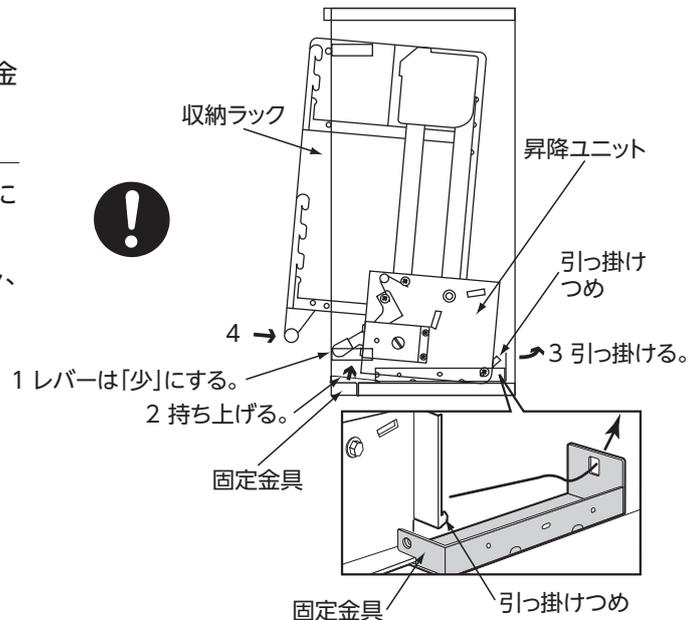
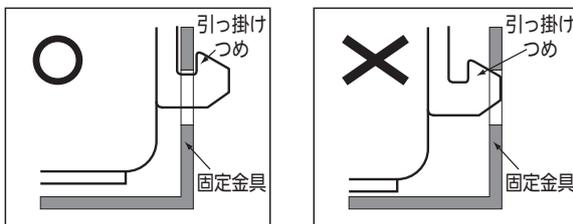
昇降ユニットの底板を
固定金具のすき間に通
してください。

(2) 収納ラックを少し手前へ引き出します。

(3) 昇降ユニットの前部を持ち上げ、引っ掛けつめを固定金具の穴に差し込みます。

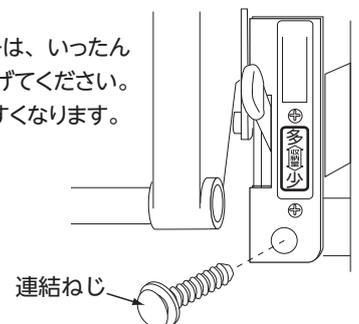
◎収納ラックを取り付けるときは、引っ掛けつめを確実に固定金具の穴に差し込んでください。

差し込みが不完全な場合は、収納ラックが変形・落下し、ケガをする恐れがあります。



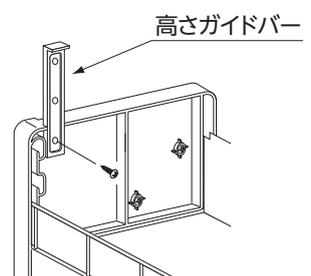
(4) 引っ掛けつめが確実に固定金具に掛かったことを確認し、吊戸棚の中心に収納ラックがくるように左右の空間を調整して、P.8「**2** 扉・棚板などの取り外し」〈ムーブダウン吊戸棚の場合〉の①で外した連結ねじで左右とも固定してください。

●このときレバーは、いったん「多」の方に上げてください。ねじが止めやすくなります。



(5) 高さガイドバー (左右計 2 本) を吊戸棚の高さ (内寸法) に合わせて調整してください。

ねじを外して、高さガイドバーの高さを調整し、再度ねじを締めてください。



取付・設置

7 取付・設置後の確認

- 次の事項をしっかりと確認してください。
 - 背板の下穴がすべて壁固定ねじで固定されているか、確認してください。
 - 棚板がしっかり載っているか、確認してください。
 - 繰り返し扉を開閉し、確実に^{ちようばん}丁番で固定されているか、確認してください。
 - キャビネット間やキャビネットと天井幕板などの部材にすき間やガタつきがないか、確認してください。
 - 丁番で扉の段違いを調整してください。また、扉面がキャビネットと平行になるように調整してください。
 - ねじの頭などにつけるキャップ類が抜けていないか、確認してください。
 - ムーブダウン吊戸棚は、収納ラックを取り付けた後、確実に昇降ユニットと固定金具が固定されているか、確認してください。
レバーを左右とも「少」にして、収納ラック内に約 2～4kg のおもりを入れ、収納ラックの出し入れを行ってください。
 - 取っ手、丁番などのねじにゆるみがないか、確認してください。
ねじにゆがみがある場合は、⊕ドライバーで締め付けてください。電気ドライバーは、使用しないでください。
 - 吊戸棚の清掃を行ってください。

取付・設置後の整理など

- 工事終了後も、商品には、必要なカバーをするなどして保護してください。
- 不要なダンボールや廃材は、排出事業主（元請け）の指示に従い適切に処理願います。
- 火気や薬品類の始末には、特に気をつけてください。

廃棄処分について

- 不要部材を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

メモ

取付・設置にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの
販売店または当社支店・営業所までご連絡ください。

クリナップ株式会社

〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22